



今月の題字

る み
佐藤 瑠美さん
(山田北小 1年)

田町のわだい

箏曲家の黒沢さんが南小で公演 児童らを魅了する和の響き

3月7日、盛岡市出身でニューヨーク在住の箏曲家・黒沢有美さんが山田南小学校（佐賀敏子校長、児童228人）でコンサートを行いました。東日本大震災で伯母夫婦を亡くし、その追悼の意味も込めて演奏したという黒沢さん。二十絃箏から奏でられた音色はインドの打楽器「タブラ」の音色と混ざり合い、会場は和の響きと異国情緒漂うリズムが織りなす不思議な世界へと変わります。児童らは、初めて体験する繊細な音楽に魅了され、真剣な表情で聴き入っていました。



山田町犠牲者二周年追悼式 ご冥福を祈り復興を誓う

東日本大震災から2年となる3月11日、町中央公民館大ホールにおいて「東日本大震災・大津波 山田町犠牲者二周年追悼式」が執り行われました。式には、遺族や来賓ら約380人が出席し、震災が発生した午後2時46分に合わせて黙とう。佐藤町長による式辞、来賓による追悼の辞に続き、遺族を代表して菊地幸子さんが「犠牲者の無念を思うと、この震災を風化させてはならないと強く思います。復興にはたくさんの時間がかかりますが、どうぞ安らかに眠りください」とお別れの言葉を述べました。式の最後は遺族や来賓、一般参列者らによる献花を行い、震災二周年の節目に犠牲者の冥福と復興の誓いを新たにしていました。

大人も子どもも夢中になって ガンブラ作って世代間交流

夢中でガンダムのプラモデルを組む子どもらと、思い出話に華を咲かせる保護者たち——。2月24日に保健センターで行われた「ガンブラをつくろう!」では、子どもと保護者ら約20人が集まり、1979年から放映された大ヒットアニメ「機動戦士ガンダム」のプラモデルを組み立てました。これは、みえ災害ボランティア支援センターが大人も子どもも一緒になって楽しめるイベントとして企画したものです。参加した子どもらはプラモデルを前に目を輝かせて組み立てる一方、保護者らは懐かしいガンダムの話題で盛り上がりたり子どもにアドバイスをしたりと、会場は和やかな雰囲気包まれていました。

